

自治基本条例に関する勉強会（第5回）
「行政や職員に望むもの」・「情報の共有について」（ワークショップ）

日時：平成19年11月18日（日）13:30～

会場：越谷市役所第二庁舎5階 研修室1・2

1 開会あいさつ（幹事）

本日は、お集まりいただきありがとうございます。

第1回目の勉強会を開催した時は、まだ、暑さの残る季節でしたが、だんだんと寒くなり秋も深まってきました。勉強会の内容も次第に深まってきました、今日は第5回目となります。今日のテーマである「行政や職員に望むもの」と「情報の共有について」は皆さんが一番関心のあるテーマではないかと思えます。日ごろ感じていることを存分に議論していただき、すばらしい勉強会にしましょう。

○ ワークショップのルールを説明

(1) 「批判をするな」

他人の意見を批判してはいけない。批判があるとよいアイデアが出にくくなる。

(2) 「自由奔放」

こんなことを言ったら笑われはしないか、などと考えず、思いついた考えをどんどん言う。

(3) 「質より量」

できるだけ多くのアイデアを出す。

(4) 「連想と結合」

他人の意見を聞いてそれに触発され、連想を働かせ、あるいは他人の意見に自分のアイデアを加えて新しい意見として述べるというのが一つのやり方。

2 ワークショップ「行政や職員に望むもの」・「情報の共有について」

(1) 「行政や職員に望むもの」・「情報の共有について」のそれぞれのテーマについて参加者に希望を聞き「行政や職員に望むもの」をテーマとする3つの班と「情報の共有について」をテーマとする2つの班に分かれる。

(2) 各班での作業（各テーマ共通）

① 自己紹介

② よいと思ったこと、悪いと思ったことを話し合い、書き出す。

③ 書き出した意見をカテゴリーごとに整理し見出しをつける。

《休憩》

④ よいと思ったことの発展や悪いと思ったことの改善について書き出す。

⑤ 書き出した意見をカテゴリーごとに整理し見出しをつける。

⑥ 各班で発表者を決め発表する。【別紙資料】

(3) 参加者全員で意見交換

・ 情報公開について多くの意見がでた。特にお金の使い方について改善するべき

ことが多いと思う。

- ・ 市長と市民との接点が乏しいという意見がでていた。市長の生の声を聞く機会がもっと必要なのではと思う。
- ・ 市民にも責務がある。情報を取捨選択し活用する能力を磨くという課題もある。自分たちも勉強していきたい。
- ・ 横断的な情報の共有は重要な課題だが、個人情報には最大限保護する必要がある。
- ・ 自治基本条例について知らない市民は多い。今後、多くの市民に知ってもらう努力をする必要がある。
- ・ 情報については、自分から求めることも必要である。関心がない、関係がないのではなく情報を得ようすることが大切であり、そのための手段を考える必要がある。
- ・ 「行政や職員に望むもの」と「情報の共有について」のテーマでワークショップをしたが、議論の内容にあまり違いがなかった。情報については、重要なテーマである。行政は情報の分かりやすさについて課題があると思う。また市民も責務を負う。市民が勉強していく必要がある。行政と市民は表裏一体である。
- ・ 広報広聴課ではなく広聴広報課という考え方には賛成だ。
- ・ 自治基本条例に関する勉強会のホームページを充実してほしい。

3 今後の日程について（事務局）

第6回勉強会は、12月2日（日）午後1時30分から、本日と同じ会場（市役所第二庁舎5階 研修室1・2）で開催する。

ワークショップのテーマは「市民を巻き込む方法について」となっている。

4 その他（事務局）

北側駐車場は5時をもって閉鎖する。参加者のみのご利用となっているので、時間までに車を出していただきたい。

5 閉会あいさつ（幹事）

長時間にわたりありがとうございました。次回のワークショップは「市民を巻き込む方法について」です。今までのワークショップとは少し違い、様々な提案をしていただく形になると思います。まちの活性化には、「若者」、「よそ者」、「ばか者」が必要だと言われています。私は、「よそ者」であり「ばか者」ですが「若者」の参加がまだ少ないと感じています。多くの皆様にご参加いただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

本日はありがとうございました